

9/8-14#6**団体の戦士としての花嫁**:Ⅰ.エペソ6:10～20は、花嫁が団体の戦士であり、神の王国のために神の敵と戦うことを啓示しています:**A**勝利を得た、キリストの愛する者は、神と一になって神の住まいとなると、神の目に美しいことテルザのようであり、愛すべきことエルサレムのようです。しかしながら、敵にとって、彼女は恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようです:**雅6:4** わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである。**B**召会は花嫁として、実は神の意図の中にある団体的な人であり、神を表現し、神の敵に対処するという二重の目的を成就します。**C**神の永遠の定められた御旨が成就され、キリストの心の願いが満たされなければならないだけでなく、神の敵が打ち破られなければなりません。このために、召会は戦士でなければなりません。**D**私たちの歩みは、神の定められた御旨を成就するためです。私たちの生活は、キリストを満足させるためです。私たちの戦いは、神の敵を打ち破るためです。

Ⅱ.千年期におけるイエスの証しは、キリストの花嫁、すなわちキリストの共同の王である勝利者です:**A**主の回復は、キリストの花嫁の用意を整えるためです。究極的に、私たちは同形化されて、すばらしいシュラムの女となります。シュラムの女は、ソロモンの複製として、キリストの配偶者、花嫁である新エルサレムの最大で究極的な型です。**雅6:13** 「帰れ、帰れ、シュラムの女よ。帰れ、帰れ、私たちはあなたを見たい」。「どうして、あなたがたはシュラムの女を見るのか? 二つの陣営の踊りを見るように」。**B**シュラムの女は、神の目に、二つの陣営あるいは二つの軍隊(ヘブル語は「マハナウム」)の踊りのようです。ヤコブは、神の御使いたち、すなわち、神の二つの軍隊に会った後、自分のいた場所をマハナウムと名づけ、自分の妻たち、子供たち、所有を「二つの軍隊」に分けました:**1**この二つの軍隊の霊的意義は、私たちを愛してくださった方を通して、キリストのからだの原則にしたがって、私たちが勝ち得て余りがあり、「超越した勝利」であることの強い証しです。**ローマ8:37**しかし、これらすべての事柄において、私たちを愛してくださった方を通して、私たちは勝ち得て余りがあります。**12:5** 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。**2**神は、自分自身の中で強い者を欲しません。神はただ、脆弱な者、弱い者、女と子供を欲します。勝利者になるのにふさわしいと数えられる人は、主に依り頼む弱い人です。**3**神は彼と一であ

る人、彼に服従し(編んだ髪で表徴される)、柔軟な意志をもって彼に従う(宝石の首飾りのある首で表徴される)人を必要とされます。**4**私たちはどのように神聖な啓示の最高峰に到達するかを考察するとき、自分自身に信頼するのではなく、愛、力、あわれみである主に依り頼むべきです。そして私たちはあわれみの器、尊い器、栄光の器とされます。**Ⅲ.霊的戦いが必要であるのは、サタンの意志が、神の意志と対抗しているからです:****エペソ1:5** みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。**マタイ6:10** あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。**A**神の意図、神の意志に加えて、第二の意図、第二の意志があります。なぜならサタンの意志が、神の意志と対抗しているからです。**B**すべての戦いは、サタンの意志と神の意志の間の衝突にその源があります。**C**霊的戦いは、神の王国とサタンの王国の間の戦いです。天の王国が確立されるためには、霊的戦いの必要があります。**D**私たちは、真理にしたがい恵みによって歩き、愛と光の中を生き、戦ってサタンの意志を征服します。**Ⅳ.私たちは神の敵に対処するために、キリストを死人の中から復活させ、彼を天上で、空中のあらゆる悪霊のはるか上に座らせた偉大な力で、力づけられる必要があります:****エペソ6:10** 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。**A**私たちが主の中で力づけられなければならないという事実が示しているのは、私たちがサタンと彼の邪悪な王国との霊的戦いを、自分の中で戦うことができないということです。私たちは、主の中におり、彼の力強い大能の中にいてはじめて、戦うことができます。**B**「力づけられなさい」との命令は、私たちの意志を活用する必要があることを暗示します。霊的戦いのために力づけられようとするなら、私たちの意志が強く、訓練されなければなりません。**V.召会とサタンとの戦いは、主を愛し、彼の召会の中にいる私たちと、天上にいる悪の勢力との戦いです:****12** というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。**A**支配者たち、権威者たち、この暗やみの世の主権者たちは、反逆の天使たちです。彼らはサタンに従って神に反逆し、今や天上でこの世の諸国民を支配しています。**B**私たちは、私たちの戦いが人に敵対するものではなく、悪霊、すなわち天上にい

る霊の勢力に敵対するものであることを、認識する必要があります。**VI. 霊的戦いは、個人の事柄ではありません。それはキリストの花嫁が団体の戦士となる事柄です。****A**召会は団体の戦士であり、信者たちはこの団体の戦士を構成します。私たちは団体的に軍隊に形成された後、神の敵と戦うことができるようになります。**B**神の戦略は、神の軍隊としての召会を用いて、神の敵と戦うことです。サタンの戦略は、私たちを、神の軍隊としての召会から分離させることです。**C**神のすべての武具はからだのためであって、個人のためではありません。団体の戦士だけが、神のすべての武具を身に着けることができます。**VII. 私たちは霊的戦いを戦うために、神のすべての武具を身に着ける必要があります。****A**神はキリストの中で、私たちの生活における実際として、霊的戦いのために私たちの全存在を強める帯です。**14** ですから立ちなさい。真理を腰に帯として締め、義の胸当てを身に着け。**B**義の胸当ては、私たちの良心を覆い、私たちをサタンの訴えから守ります。この義の胸当ては、私たちの義としてのキリストです。**C**キリストは、私たちが神と一であり、また聖徒たちと一であるための平和です。この平和は、私たちが敵に敵対して立つことができるようにする堅固な土台です。**D**信仰は、敵の燃える火の投げやりに抵抗する盾です。キリストは、そのような信仰の創始者、また完成者です。**E**私たちの思いを覆う救いのかぶとは、私たちが日常生活で経験する救いのキリストです。**F**その霊の剣（その霊は神の言葉です）は、私たちの攻撃の武器であり、私たちはこれをもって敵を粉碎します。**17** また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、**18** すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。**G**祈りは神のすべての武具を適用するための唯一の、極めて重要で、不可欠な手段であり、武具のあらゆる項目を、実際的に使用することができますようにします。**VIII. 神のすべての武具を身に着けることによって、私たちは悪魔の策略、邪悪な計画に敵対して立つことができます。****11** 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。**13** こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが邪悪な日にあって抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。**A**キリストと共に座することは、彼が成就したすべてにあずかることで

す。キリストのからだの中で歩くことは、神の永遠の定められた御旨を成就することです。キリストの力の中で立つことは、神の敵に敵対して戦うことです。**B**敵と戦う中で、最も重要な事は立つことです。私たちはすべてのことをやり抜いた後も、最後まで立つ必要があります。**IX. 私たちはみな、今日の主の回復の中で戦場にいることを見る必要があります。**私たちは主と協力して、サタンの空中の勢力と戦うべきです。それによって私たちは、さらに多くキリストを獲得してキリストのからだを建造し、キリストの花嫁の用意を整え、神の王国を設立し、拡大することができます。こうしてキリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるのです。**証**私は、団体の花嫁・戦士の一部として、**①**主を愛し、**②**主に信頼し、**③**主に服して霊的戦いを戦った証をします。私はこれらの3点をビジネスライフに適用して、短く祈り、祝福されました。**①**私が主を愛し、兄弟姉妹たちと組み合わされて、神の住まいとなる時、神の目に美しいことテルザのようであり、敵にとって恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようになります。このことは、特に仕事が忙しい時に、私を目覚めさせ、主を愛させ、次のように祈らせました、「**おお主イエスよ、霊的戦いのために、私は先ず、主を熱烈に愛する花嫁である必要があります。そうであれば、私は花嫁・軍隊の一部となる事ができます**」。ハレルヤ、私がこのように祈る時、サタンの脅迫に対する恐れが消えました。**②**私はよく仕事の中で度々、次のように祈りました、「**私は自分の能力や過去の成功体験に頼ることはできません。私はあなたに依存します。全く同じ環境は無いので、新たな環境に、私が適切に対応するために、私はあなたに依存し、信頼します**」。この短い祈りは、忙しい仕事の中で、私が主に戻り、喜びを維持することを助けました。**③**私はビジネスの難しい決定の中で、度々次のように祈りました、「**私はあなたに服します。あなたが行くなら、私は行きます。あなたが行かないなら、私は行きません。私は主に服従することでのみ、サタンを辱めることができるのです。そして、私が主に服従する時、私はサタンの攻撃を対処して、会社の益のために正しい決定を下すことができます**」。この基準で私が決定する時、私は失敗を恐れず、大胆に決断することができました。特に、すべての大きな決定において、私はよく人が思いつかないような決定をしましたが、後で、その決定が正しいことが明確になり、人々から称賛されました。ハレルヤ、主を賛美します！